



レポートに関する詳細情報 OnCommand Unified Manager 9.5

NetApp
December 20, 2023

目次

レポートに関する詳細情報	1
レポートの機能	1
カスタムレポートを作成するために Unified Manager データベースにアクセスできる	2
レポートのスケジュールとは	2
レポートの共有とは	3
レポートのインポートとは	3

レポートに関する詳細情報

オプションを使用すると、レポートを実行、削除、エクスポート、およびインポートできます。カスタムレポートを作成し、カスタマイズしたレポートを保存することもできます。フィルタ、ソート、グループ化、書式設定などの追加の処理を実行できます。

レポートの機能

レポートには、ストレージオブジェクトに関する詳細情報が表示されます。これにより、潜在的な問題を確認して特定できます。

レポートを保存、削除、共有、スケジュール、およびインポートできます。特定のレポートを検索することもできます。特定のユースケースに対応するようにレポートをカスタマイズして、あとで使用できるように保存できます。フィルタ、ソート、グループ化、書式設定などの追加の処理を実行できます。

デフォルトでは、各レポートグループはレポートタイプおよび概要 別に表示されます。レポートを実行して、特定のレポートグループを表示できます。

実行したレポートは、さらにカスタマイズして保存できます。[レポート]ページに保存されたカスタムレポートを、特定のレポートカテゴリに基づいてグループ化して表示できます。

PDF、XHTML、CSV、XLS、テキストのいずれかの形式で送信するようにレポートをスケジュールしたり、レポートを共有したりできます。

さまざまな形式でレポートをエクスポートして、デスクトップに保存できます。生成されたレポートから個々の列データをエクスポートできます。

レポート設計ファイルをインポートできます (.rptdesign ファイル) をクリックし、インポートしたレポートをReportsページに保存します。カスタムレポートとインポートしたレポートを削除できます。

インポートできるレポートは次のとおりです。

- 列のスパンが1に設定されている複数のヘッダーがあるレポート
- グラフのみのレポート
- リストとグリッドのみのレポート

テキスト、CSV、Excel形式のレポートは、次のシナリオでサポートされます。

- 内のテーブル要素のみ .rptdesign ファイル。
- 行としてヘッダーが1つだけのテーブル

列のスパンが1より大きい値に設定されているレポートをインポートすることはできません。テキスト、CSV、Excel形式のレポートに複数のヘッダー行がある場合、最初のヘッダー行だけが考慮され、残りの行は無視されます。

カスタムレポートを作成するために **Unified Manager** データベースにアクセスできる

Unified Manager では、監視対象のクラスタからのデータを MySQL データベースを使用して格納します。データは MySQL データベースのさまざまなスキーマに永続化されます。

Unified Manager 7.3以降では、追加のテーブルのデータへのアクセスを提供する追加のスキーマが公開されています。

次のデータベースからすべてのテーブルデータを使用できます。

データベース	説明
NetApp_model_view	ONTAP コントローラのオブジェクトに関するデータ。
パフォーマンス	クラスタ固有のパフォーマンスカウンタ。
ocum	Unified Manager のアプリケーションデータと、UI で一部の派生フィールドのフィルタ、ソート、計算に使用される情報。
ocum_report	インベントリの設定と容量に関連する情報のデータ。
ocum_report_BIRT	上記と同じデータ。このデータベースは組み込みのBIRTレポートで使用されます。
OPM	パフォーマンスの設定としきい値の情報。
頭皮管理者	Unified Manager のアプリケーションの健全性とパフォーマンスの問題に関するデータ。

レポートスキーマロールを持つデータベースユーザーであるレポートユーザーは、これらのテーブルのデータにアクセスできます。このユーザには、レポートおよびその他のデータベースビューに Unified Manager データベースから直接アクセスするための読み取り専用アクセスが付与されます。このユーザには、ユーザデータやクラスタクレデンシャル情報を含むテーブルにアクセスする権限はありません。

を参照してください ["Unified Managerレポートのテクニカルレポートを参照してください"](#) 詳細については、TR-4565を参照してください。

レポートのスケジュールとは

特定の日時にレポートを生成するようにスケジュールを設定するには、* Schedule *オプションを使用します。レポートは、スケジュールに従って1人以上の受信者にEメールで自動的に送信されます。

レポートをスケジュールすると、レポートを手動で生成して送信する手間を最小限に抑えることができます。Unified Managerからの通知を受信しない管理者がストレージの現在のステータスを指定した間隔で監視するように設定できます。

レポートの共有とは

1人または複数のユーザとレポートを共有するには、* Share *オプションを使用してEメールを送信します。

レポートに対して行った最近の変更が表示されるようにするには、レポートを共有する前にレポートを保存する必要があります。

任意の形式でレポートを共有できます。* Share*オプションを使用すると、Unified Managerにはアクセスできず有効なEメールアドレスを持っている場合でも、Eメールでレポートを瞬時に共有できます。

レポートのインポートとは

Unified Managerの* Import Report *オプションを使用してレポートをインポートし、インポートしたレポートに名前と簡単な概要を付けて保存できます。レポートをインポートすると、Unified Managerに付属の標準のレポートに加え、カスタムのレポートを環境に追加することができます。

をインポートできます .rptdesign すでに作成されているファイル。インポートしたレポートは、実行、共有、スケジュール、および削除することができます。

Unified Managerは、レポートのインポートのログファイルをjboss.log、ocum-report.log、ocumserver-debug.logの各ファイルに保存します。



カスタマーサポートがレポートの設計を支援することはありませんが、レポートのインポート処理で発生した問題についてのサポートは提供されます。

レポートのインポートでは、次の機能がサポートされます。

- 列のスパンが1に設定されている複数のヘッダーがあるレポート (colspan=1)
- グラフのみのレポート
- リストとグリッドのみのレポート
- レポートで使用するパスワードは、「base64」形式でエンコードする必要があります。「JCE」形式など、他のエンコーディングを使用するレポートでは、インポート処理中に原因にエラーが発生します。
- データ集約を含むレポートでは、レポートのテーブルデータに集計列要素を含める必要があります。

テキスト、CSV、Excel形式のレポートは、次のシナリオでサポートされます。

- 内のテーブル要素のみ .rptdesign ファイル。
- ヘッダー行が1つしかないテーブル



列のスパンが1より大きい値に設定されているレポートをインポートすることはできません。テキスト、CSV、Excel形式のレポートに複数のヘッダー行がある場合、最初のヘッダー行のみが考慮され、残りは無視されます。

著作権に関する情報

Copyright © 2023 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。